

平成 29 年 春の国内工場 見学会



奈良観光バスで出発

平成29年3月22日（水）早朝7時過ぎに集合して貸切りバスにて愛知県へ向けて出発致しました。今回の見学先は ① 株式会社高木製作所（愛知県岡崎市）と ② 八形工業株式会社（愛知県海部郡蟹江町）の2社を見学訪問致しました。2社ともに愛知県金属プレス工業会の会員企業です。今回の見学会参加者は計26名（事務局含め27名）と沢山の方に参加して頂きました。

① 【株式会社高木製作所】

資本金3億600万円、国内生産拠点2工場、グループ会社5社、海外6拠点、売上連結約600億円、従業員数連結約3,720名、自動車用小物プレス部品及び金型の製造・販売しているティアワン（自動車メーカーに直接納入する一次サプライヤー）企業です。今回は主力工場である岡崎工場を見学させて頂きました。

高木製作所が製造するプレス製品は300トン以下（主に200トン以下）の小物部品に限定し、金型においてはサイズ規格を5種に限定し、ダイセット共通のQDC（Quick Die Change）金型にすることで、金型製作期間を9日間と圧倒的に短納期&低コスト化を実現されています。プレス機では自社開発の高速搬送装置とQDC金型により単発プレス2～5工程の加工を順送金型と同等の速度で実現しています。QDC金型にすることで金型の段取りも容易となり、少量品から多量品まで顧客からの受注変動にも素早く対応可能にしています。その他ではプレスの後に溶接を自動で行なうロータリー式自動溶接機などを見学し、短納期、品質、コストの面において、さすがはトヨタ自動車のティアワン企業という感想です。



高木製作所様の会社説明



高木製作所様の前で記念撮影

② 【八形工業株式会社】

資本金1,000万円、売上14.6億円、従業員約100名、4輪車用のアブソーバー部品をはじめブレーキ、エンジン部品など自動車用関連部品をプレス製造する会社です。

深絞り加工を得意とされ複雑な形状の加工を高精度で実現されています。プレス機による深絞り加工、ロー付けや溶接加工、切削加工、順送型とロボットを組み合わせるなど様々なプレス加工をシステム化、自動化されており、どの工程においても高い技術力で生産効率向上に努められています。工場内では外国人や高齢者の作業員も多く見受けられ、従業員の改善意欲は高く、改善活動の内容についても大いに参考になりました。



八形工業様の会社説明



八形工業様の会社説明



八形工業様の前で記念撮影

帰りのバスの中では、ご参加者の皆様との交流をはかるべく、お一人ずつ自己紹介をして頂いて、今回の見学会の感想などの自由なご意見を頂きました。遠方の愛知県への工場見学会でしたが、参加された皆様にも非常に参考になる有意義な一日でした。